

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和5年3月25日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670102534
法人名	有限会社いこいの広場
事業所名	グループホーム いこいの広場
所在地	鹿児島県鹿児島市坂之上四丁目6番13号 (電話) 099-210-8230
自己評価作成日	令和5年2月15日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センター福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	令和5年3月9日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

いこいの広場の理念・「ゆっくりと楽しく過ごして頂く」・「明るい環境の中での笑顔に共感」・「家族や地域交流を大切にする」を大切にしながら、入居者の皆様と共に毎日を生活しています。一緒に調理をしたり掃除をしたり、のんびりと一緒にお茶を飲んだり、理念にもあるように「ゆっくりと楽しく過ごす」事を頭に入れながら明るく、笑顔で、日々支援しています。明るく開放的なリビングと、目の前に広がる雄大な桜島を毎日見ながら生活し、近所にスーパーや農協、慈眼寺公園、ふるさと考古歴史館など様々な施設があり、ドライブや季節の行事などを皆様と一緒に楽しんでいます。これから先も様々な事に挑戦し毎日を楽しく過ごしていきたいと思っています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当事業所は2階が住宅型有料老人ホームとなっている。コロナ感染者減少時は近隣の店へ個別の買物支援や近距離にある公園・歴史館への花見ドライブ等に外出支援している。
- ・コロナ感染対策として家族や友人・知人へ窓越し面会を行い、差し入れの品は玄関横に宅配ボックスを設置して対応し、関係性が途切れない支援に努めている。
- ・管理者や職員はアットホームな雰囲気の中で日々寄り添うことを大事に利用者とコミュニケーションを図り支援している。
- ・運営推進会議は定期的に対面で実施し、参加者も近隣住民や消防署職員の参加で年2回消防避難訓練も実施し、助言をもらっている。
- ・本人や家族の希望で協力医療機関が主治医となり、月2回の訪問診療、訪問看護と24時間医療連携体制で適切な医療を受けられるよう支援している。看取り支援も主治医や訪問看護・家族・職員で連携しながらチームで支援をしている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	いこいの広場の理念「ゆっくりと楽しく過ごしていただく」「明るい環境の中での笑顔に共感」「家族や地域交流を大切にする」を念頭に取り組んでいる。	理念は事務所やホールに掲示しパンフレットや重要事項説明書にも掲載している。入職事は理念について説明し、毎朝申し送り後に唱和、共有しケア実践している。各自が日々の支援の中で振り返り、毎月ミーティングでも話し合い実践に繋げている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会に加入し、近隣の方が野菜などの差し入れを持って来て頂いたり、気軽に挨拶をしてくれたりと交流をしている。	町内会に加入し回覧板で地域情報を得ている。コロナ禍の為に地域行事への参加は自粛中である。旬の野菜等の差し入れは玄関横の宅配ボックスに入れてもらったり、散歩時の挨拶を気軽に交わしている。地域住民の相談がある場合は丁寧に対応している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	運営推進会議の場などで、認知症の方々に対して、ご理解頂ける様に話をしたりと、取り組んでいる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議の場で、いこいで の取り組みを報告したり、参加者の方々からご意見を頂きながら、サービスの向上に取り組んでいる。</p>	<p>定期的に会議を開催し入居者の状況や取り組み状況を報告している。消防署職員数名参加のもと、消防避難訓練を同時に開催し、指導を頂いたり、参加者の質問や意見などを職員に伝達しサービス向上に取り組んでいる。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。</p>	<p>運営推進会議では、長寿あんしんセンター（地域包括支援センター）の職員に参加頂いたり、毎年、介護相談員を受け入れたりと、協力関係を築いている。</p>	<p>市担当者とは窓口に出かけ書類提出や電話で相談したり、介護相談員の受け入れもしている。生活保護担当者等の訪問で情報提供や共有する等の協力関係を築いている。市主催の研修にはオンラインで参加し職員に伝達している。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>スタッフ全員が、身体拘束の具体的な行為があり、どのような弊害が起こるかを理解し、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>マニュアルがあり身体拘束廃止委員会を3ヶ月に1回、事例に基づいての勉強会や虐待についても学んでいる。便失禁時の不潔行為を家族に相談、了解を得てバスタオルを巻いたり、職員の不適切な声かけがある場合等、意見交換したり指導し、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。日中の玄関施錠はせず、外出希望の場合は、玄関先の駐車場で話をしたり、散歩や家族に電話する等、工夫し対応している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修に参加したり学習会を行ったり、虐待などに対して理解し、防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	いつでも支援が出来る様に制度について学習している。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	利用者本人や御家族に充分なご理解を頂いている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	運営推進会議などを通して入居者様や、ご家族様が意見や要望を表せる機会がある	利用者からは日々の関わりの中で意見や要望を聞いている。家族からは運営推進会議や窓越し面会時・電話で現状報告し意見や要望を言える機会を設けている。1～2ヶ月毎に便りや写真等を郵送で報告し、意見が言いやすい環境を作っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>職員会議などで、職員の意見や提案を聞く機会を設けており、反映させている</p>	<p>代表者や管理者は毎月職員会議やミーティング・申し送りで意見や提案を聞いている。日々の関わりでも意識して職員に声かけし意見を言える雰囲気作りを心がけている。必要時個人面談している。意見を介護ケア等に活かしている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>個々の能力など把握し、働き甲斐がある職場づくりや環境を整えている。また職員と管理者が気軽に話しが出来る環境を整えている</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>一人一人の、力量に応じながら、研修を受けられるように取り組んでいる</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>同業者との交流も兼ねて、合同の研修会を行い取り組んでいる。また近所の施設などに訪問し交流している</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居した時は特に、安心してサービスを受けて頂く様に、本人の声をしっかりと傾聴し、安心される様に努めている		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族様との十分な信頼関係を築けるように、話をしっかりと伺い取り組んでいる		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本当に必要なサービスは何かを、本人やご家族に伺いながら、対応し取り組んでいる		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	常日頃から、一緒に暮らしを共にする者として、支えあったりと毎日を過ごし信頼関係を築いている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>ご家族様と一緒に、共に本人様を支えあう関係を築けるように、よく話をし取り組んでいる</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>本人様が、大切にしてきた関係が途切れる事が無いように定期的に連絡をしたりと努めている</p>	<p>コロナ感染状況により窓越し面会時は室外から生活状況が確認できるよう工夫している。家族や知人からの電話取次ぎやハガキをだす等で交流が途切れない支援に努めている。手持ちの携帯電話で自由に会話されたり、感染者減少事は個別に住み慣れた地域へドライブしたり、近隣への買物支援をしている。馴染みの訪問理美容師を依頼している。</p>	
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>入居者様同士の関係を把握し、孤立しないように、職員が間に入り支援に努めている</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>いつでも相談に応じたり、こちらから定期的に連絡したりと、退所後の支援に努めている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	入居者様一人ひとりの思いや希望を把握し支援に努めている。訴えの困難な入居者様には、本人の立場に立ち支援している	日々の関わりの中で、入浴介助や居室でゆっくりされている時に思いや希望を聞いている。困難な場合は表情やジェスチャー、声のトーン等を職員間で話し合い、本人本意に検討した結果を介護記録しケア実践している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	生活暦や生活環境など、入所時に本人様やご家族様に話を十分に伺い、把握に努めている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	本人の心身状態など、毎日の記録や申し送りまた職員会議などを通して現状に把握に努めている		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人を交え、それぞれの意見を反映し、現状に即した計画が作成できるように取り組んでいる	本人・家族の意見や意向を聞き、主治医や薬剤師・職員の意見、必要時は訪問看護師等の意見や利用者の特技など反映させ介護計画を作成している。モニタリングは新規の場合1ヶ月、3ヶ月で実施し、その後は6ヶ月毎に実施し、見直している。状況変化時はその都度見直し現状に即した介護計画を作成している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>それぞれ個人記録があるので、それを活用している。また申し送りなど行い、情報の共有化にとりくんでいる。介護計画の見直しにも活かしている</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>一つのサービスにとらわれずにその時の状況に応じ、臨機応変に対応し、取り組んでいる</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>地域の行事などに参加や見学をしたりと支援している。また消防訓練などに参加して頂いている</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるよう支援している</p>	<p>本人様とご家族様に納得して頂いているかかりつけ医との信頼関係は築かれている。いつでも受診が出来るように支援している</p>	<p>本人や家族の希望するかかりつけ医と信頼関係を築いている。月2回の訪問診療がある。歯科医の往診もある。家族へ毎月電話で報告している。他科受診は基本は、家族に依頼している。訪問看護や24時間医療連携体制で適切な医療を受けられるよう支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>気づいた事をすぐに連絡、相談できる様に取り組んでいる。また本人様が適切な受診が出来るように取り組んでいる</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院された場合には、できるだけ早期に退院が出来るように、病院関係者との話し合いをもち情報交換を行っている</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>本人様、ご家族様と話を十分に行い、事業所として出来ることと納得して頂いた上でチームとして支援している</p>	<p>入居契約時、マニュアルに基づいて説明し、同意書も貰っている。重度化した場合は主治医から医療機関で管理者同席し家族に病状説明が有り、方向性を話し合いながら主治医・訪問看護師・家族と連携しケア支援している。看取り支援時は感染対策のもと、家族も同席しチームで取り組んでいる。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>定期的に訓練を行い、急変時や事故に対し適切な対応が出来るように備えている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>消防署員立会いのもと定期的に避難訓練を行っている。地域との協力体制を整えている。</p>	<p>防災訓練を年2回消防署立会で昼夜間想定で火災想定のお知らせ、避難誘導訓練、消火訓練を実施している。総評で避難経路には障害物を置かないなどの指導を貰っている。近隣住民への声かけで協力体制を構築している。防災機器の定期点検を年2回業者に依頼している。備蓄は水・ご飯・カップラーメン・缶詰・カレー・レトルト食品等の7日分とカセットコンロ・懐中電灯・発電機もある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>本人様の自尊心を傷つけないように、声かけや対応に気をつけている。また職員間でも気を付けている</p>	<p>年1回マニュアルに基づき人権擁護・身体拘束・虐待等の勉強会を実施している。入職時のオリエンテーションでは接遇マナーの研修も実施し、資料配布している。日々声かけや対応に気を付け、排泄や入浴時のケアでは「お手伝いさせていただきます」やドアを閉めたら「声かけしてください」等と優しく対応している。自己決定できるよう個別に応じて支援している。</p>	
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>本人様が、思いや希望を自己決定できるような声かけを行い、取り組み、またその意思是尊重している</p>		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>なるべく希望に沿って過ごして頂ける様に、一人ひとりのペースに合わせてながら支援している</p>		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している</p>	<p>本人の好みで服を選んでいただき、ご自分ですることが困難な方には、職員が一緒になって支援している</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>毎日の食事の中で、入居者様とスタッフが一緒になって、盛り付けや配膳、食器の準備などを毎日行っている。</p>	<p>利用者の好みを取り入れ職員が献立作成している。食形態は嚥下機能に応じて普通食～ミキサー食迄を提供し、音楽を流したり、相撲がある場合はテレビをつけ食事を楽しく食べている。季節行事食や敬老の日は紅白饅頭で祝い、誕生会には好みのケーキで、父の日や母の日はムースを提供している。おやつは希望があればアイスクリームなども提供し食べることが楽しめる様に工夫している。個々の力量に応じてお盆を一緒に洗っている。</p>	
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>栄養のバランスなど、かかりつけの主治医の意見を聞いて一人ひとりに応じた支援を行っている</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>ご自分で出来ない方は、スタッフと一緒に、口腔内の清潔保持に取り組んでいる。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	トイレでの排泄を目標に一人ひとりのタイミングに合わせ声をかけている。また失敗しても自尊心を傷つけない様になっている。	日中トイレでの排泄を目標に排泄チェック表で排泄パターンを把握し支援している。失禁時は自尊心に配慮した対応で清潔保持に努めている。夜間のみポータブルトイレ使用者もいる。失禁回数の減少や自分でトイレに行かれるようになった事例がある。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	日々排泄の確認し、食物繊維を含む食事を提供したり、毎日の体操や、水分摂取など予防に取り組んでいる。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	毎日入浴を行なえる様に体制を整えている。一人ひとりがつっくりと入浴できるように支援している。	基本的に週3回、午前10時から午後5時頃迄に希望で時間帯や順番・湯温等調整し個別に応じた支援や同性介助で対応している。入浴拒否もなく入浴剤やみかんの皮で香りを楽しんだり、スムーズに入浴支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中の休息など声をかけて休んで頂いたり、就寝前など騒音や雑音が出ない様に取り組んでいる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>服薬している薬のファイルがあるので、すぐに確認できるように取り組んでいる。</p>			
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>利用者様それぞれ得意分野があるので、一人ひとり役割を持って頂き支援している。</p>			
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>近隣への散歩や買物には出かけ楽しまれている。また遠方の外出は、ご家族の協力を得ながら支援している。</p>	<p>コロナ禍で外出は自粛中であるが日常的に近隣の散歩や事業所前の駐車場で日光浴や外気浴を楽しんでいる。感染者の減少時は個別の買物支援や桜の花見・コスモス見物等、ドライブや初詣に出かけている。家族の協力や事業者内の行事、レクリエーションを工夫し、楽しめる様支援している。</p>		
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>買物に出かける時など、高額では無いが自分で使用できるように支援している。</p>			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>広間には受話器の子機や手紙用の筆記用具を準備し、いつでも利用できるようにしている。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>快適に、居心地良く過して頂ける様に、温湿度や採光に気を付けている。また近隣の方から頂いた季節の野菜などを使用した食事の提供など心がけ取り組んでいる。</p>	<p>ホールには空気清浄機が設置され換気、採光に気を付け温度湿度を確認しエアコンで調整し快適な環境を心がけている。感染対策でテーブルや椅子は消毒を徹底している。対面式キッチンで利用者全体を見渡せる。テレビが見える位置にソファも配置している。壁には季節行事の写真や利用者の作品、長寿の歌を掲示し季節の花も飾り、それぞれが自由に過ごしている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>共有空間では利用者の皆様が自由に過して頂ける様に配慮している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>全てでは無いが、ご家族と相談しながら、本人の馴染みのある物を置いて生活をして頂いている。</p>	<p>居室は電動ベット・エアコン・タンスを設置し、シーツ2~3枚と寝具類は持ち込みである。使い慣れたハンガーラック・仏壇・テレビ・ラジオ・家族の声を吹き込んだCD・行事の写真・家族の写真・誕生日の贈り物・馴染みの人形・自作の塗り絵等を飾り、自分らしい居室で居心地よく過ごしている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>建物内のハード面を活かし、なるべくご自分でされるように声を掛けたり、支援をしている。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない